



WEEKLY REPORT YAIZU ROTARY CLUB



50年をみんなで祝おう!!

会 長 : 倉 嶋 伸 康 幹 事 : 岡 村 延 昌 例会日 / 毎週木曜日 12:30~13:30 毎月最終木曜日 18:00~19:00(11月~3月除)
会長エレクト: 松 村 友 吉 副幹事: 小野田 孝美 例会場 / 焼津鯉節会館 2 階ホール TEL 629-4850
事務所 / 焼津市焼津 5 丁目 16-16 TEL 629-4850 FAX 628-7669

第 2 4 4 6 回例会 No. 1 2 0 1 0 ~ 2 0 1 1 7 月 1 日 会報担当 浅 原 博

「役員・理事・委員長 就任挨拶」

◆ 司会者 幹事 岡 村 延 昌 君

◆ 会長挨拶 会長 倉 嶋 伸 康 君

◆ 点 鐘 会長 倉 嶋 伸 康 君

ROTARY-SONG

「国歌」

「奉仕の理想」

SONG-LEADER 多 々 良 匡 君

◆ 直前会長・幹事よりバッチの引継ぎ、記念品贈呈



いよいよ、本日より、50周年を祝う年度のスタートとなりました。只今、近藤直前会長から引き継ぎましたバッチは非常に重い会長バッチですが会長バッチの重みに恥じない様に1年間勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。又、近藤直前会長、秋山前幹事、1年間ありがとうございました。今後とも経験者としてご指導よろしくお願いいたします。

本日は、当焼津ロータリークラブ設立当初からのメンバーであり、唯一のチャーターメンバーであります藤原 明さんにも久しぶりにご出席いただきました。ありがとうございました。

新しい年度早々に残念なニュースがあります。近藤年度の最終例会から1週間目の先週24日に八木パスト会長からの退会の申し出がありました。八木さんは、長い間闘病生活をしておりましたが、お医者さんから外出禁止令が出て、当分例会にも出席できないとの理由でした。近藤年度の持回り理事会で手続きさせていただきました。一日も早く回復なされるようお祈りしたいと思います。

さて、本年度のスタートの日が本日7月1日木曜日

、54名での船出となりました。更に、来年の6月30日が同じく木曜日ということで、木曜日に始まって木曜日に年度終了という巡りあわせの年となりました。途中、エンストすることのないように、1年間無事故で運営していきたいと思います。ロータリアンの皆様の1年間のご協力を是非お願いいたします。

◆ 幹事報告 幹事 岡村延昌君

1. クラブ計画書を配布しました。本日から第3例会までご持参下さい。尚、予算・決算につきましては、別冊としました。次回通常総会にて配布します。
2. 修正7月度及び、8月、9月例会プログラムを配布しました。
3. 次回第2例会は、ガバナー補佐訪問ですが、通常総会並びに創立記念日で、ノンアルコールビールにて乾杯致しますので皆様のご出席をお願いします。
4. 本日の第3例会は、就任挨拶となりますが、一人2分間お取りしてございますので、宜しくお願いします。
5. クールビズの件ですが、7、8、9月例会とし、例年通りガバナー訪問等はネクタイ着用とします。
6. メークアップの件ですが、理事会、クラブ協議会、奉仕プログラムへの参加、委員会炉辺会合、他クラブ例会出席、地区及び分区の行事参加を認める。 ※同好会は認めない。
7. 各出・欠席表及び集金は、本日より受付にて開始しておりますので早めの登録をお願いします。
8. 6月24日付けで、八木宏真君より病氣療養の為退会届けが提出され、前年度持ち回り理事会にて承認されました。クラブ計画書には間に合いませんでしたので、残念ですがご配慮をお願いします。
9. 2620地区より富士山を世界遺産に署名をお願いが来ておりますので回覧します。

◆ 出席報告

	会員数	出席数	出席率	6月10日 M-UP	確定 出席率
7月1日	54 (51)	44名	86.27%	6名	72.55%

◆ メークアップ

- ・大石訓永君 (校長会)
- ・青島直久君 (校長会)
- ・多々良 匡君 (校長会)
- ・池ヶ谷 聡君 (校長会)
- ・伊藤正樹君 (校長会)
- ・深沢英雄君 (校長会)

◆ 委員会報告

○親睦活動委員会 大石鉄郎君

- 1) お喜びの時間の内容が少し変わります。
本年度は本人誕生日にもプレゼントを用意しました。
 - ① 本人誕生日でお名前を呼ばれたメンバーは前に出てきてください。
 - ② 婦人誕生日、結婚記念日、入会記念日、創立記念日の順に読み上げ、最後に本人に倉嶋会長からお祝い品を手渡していただきます。
 - ③ 手渡されたメンバーは、その場で一言「どんな年にしたいか」発表してもらいます。その週に複数人いる場合は、最年少者にスピーチをお願いします。
 - ④ ちなみに、婦人誕生日には先日の校長会でお会いした羽田校長先生の奥様で現在 JC メンバーでもある GO FLOWER WORKS からフラワーアレンジメントをお届けします。また、結婚記念日には、逸品会の季節のフルーツをお届けします。
- 2) 納涼例会の件
 - ① 既に登録を受け付けておりますが、開催日時は7月29日木曜日の午後6時からです。会場は去年と同じくサッポロビールさんにお世話になります。
 - ② メンバー及び同伴者一人は無料ですので、是非奥様やそれに類する人で20歳以上の方をお誘いの上ご出席ください。

同伴2人目からはお一人2,000の登録料が必要となります。なお、同伴者には些少ですがプレゼントを用意させていただきます。

- ③ 服装については、自由とします。半ズボン、焼津シャツ、浴衣、甚平など夏を感じさせるいでたちが良いと思いますが、ジャージや乱れた服装はご遠慮ください。

○プログラム委員会 水野康男君

9月9日の50周年記念移動例会の受付を始めました。皆様こぞって参加して下さい。会費は、1人3,000円です。場所は、AOIタワー・グランディエールブクトーカイ24Fです。

○50周年記念事業実行委員会 村松孝保君

50周年記念事業の1つ「いま潮騒のまちへ」の普及活動のスタートとして、歌のCD化を行いました。皆様のお手元にありますので、よろしくお願いします。7月より、具体的な普及活動を行って参りますので、ご協力の程お願いします。

○50周年記念誌実行委員会 仲野和則君

記念誌の製作準備を進めています。会員の名簿作りに着手しておりますので、会員の写真どり等、ご協力ください。

○社会奉仕委員会 大石博之君

2620地区の社会奉仕委員会の事業で富士山を世界文化遺産に登録しようという支援事業を行います。署名簿が来ていますので署名をお願いします。上記の事業の一つとしまして、富士山奉仕登山隊を募集しています。登山経験のある方の参加をお願いします。

○クラブ広報委員会 浅原博君

焼津ロータリークラブのホームページが、7月1日をもってリニューアルいたしました。クラブ会報もホームページより見る事ができます。紙ベースで必要な方用にも、受付に置いてお持ちいただけるように準備いたします。ぜひ、ご活用ください。

◆ 同好会報告

○大輪朝顔同好会 大石訓永君

会員に朝顔の苗をプレゼントします。全員帰りにお持ち下さい。



○グルメ同好会 青島直久君

6月22日に第1回目のグルメ同好会を開きました。場所は、静岡のドン岩崎というお店です。



◆ 会員のお喜び

親睦活動委員会 深沢英雄君

○夫人誕生祝

浅原博君 (秀子様) 07.03

○入会記念日

多々良 匡君	H4.07.02
松永富夫君	S55.07.04
鈴木梅二郎君	H14.07.04
福与晃市郎君	S58.07.07
鈴木啓央君	H17.07.07

○創立記念日

寺岡 襄君 磯自慢酒造(株) H02.07.01

増田欣平君 石竹水産（株） S46.07.01
鈴木 薫君 （株）清水銀行 S03.07.01

☆スマイルニュース

スマイルボクサー 森 本 達 二 君

○倉嶋伸康会長

・焼津ロータリークラブ 50 年目のスタートとなりました。50 年をみんなで祝い、ロータリーを楽しいと実感できる 1 年になります様、務める所存です。ロータリアンの皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

○松村友吉君

・会長エレクト、1 年間よろしくお願いします。

○寺岡 襄君

・天保初年、西暦 1830 年酒造を総業以来、本年即ち西暦 2010 年で、180 年が経過致しました。平成 2 年に会社組織にし、平成 2 年 7 月 1 日付で税務署より酒造免許を戴き 20 年が経過致しました。地元の皆様よりの御愛顧に感謝し、スマイルに協力致します。

○大井基明君

・スマイル委員会の委員長を仰せつかりました。1 年間、宜しくお願い致します。

◆ 役員・理事・委員長就任挨拶

○会長 倉嶋伸康君



当クラブは、昭和 35 年（1960 年）7 月 11 日静岡 RC（土橋一雄特別代表）のスポンサーにより誕生しました。以来、半世紀の歴史を刻み、本年度 50 回目の創立記念日を迎えることになりました。この記念すべき年に不肖私が会長職を仰せつかりました事は誠に光栄であると同時に、その責任の重大さをひしひしと感ずる次第です。岡村幹事共々誠心誠意運営に努めて参る所存です。絶大なるご支援ご協力をおねがいたします。今年度は、50 周年を全会員で祝う 1 年にした

いと思いますが、同時に、ロータリーの原点に立ち返り、ロータリアンとして誇りをもって行動する一年にしたいと念願しております。

私たちロータリー活動の中心は、四大奉仕に代表されます通り『奉仕』にあります。奉仕は、サービスの直訳ですが、アーサー・フレデリック・シェルドンによりますと『サービスは、世のため、人のためになる、同時に事業を繁栄させる、そして本人の幸せにも至る道である』と解説しています。先輩ロータリアンの皆さんは今さらという感がありますが、4 大奉仕とは『クラブ奉仕』『職業奉仕』『社会奉仕』『国際奉仕』を指します。しかし、2010 年の規定審議会で新世代を含めて五大奉仕となるそうです。

五大奉仕のなかで、クラブを運営していくために必要な奉仕が『クラブ奉仕』です。『クラブ奉仕』は、クラブのためになる行為、即ち親睦をはかり、例会には必ず出席し、クラブの行事に出来るだけ参加することがクラブ奉仕に通ずるのではないかと思います。更にロータリアンとして立派な人を推薦し、会員増強に努めることもクラブ奉仕です。楽しい例会にすることがクラブ奉仕に繋がるのだと思います。

『職業奉仕』は、五大奉仕の中でも特に重要な奉仕です。ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は、職業奉仕の概念を持っているということです。職業奉仕は、職業を通じて人のため世の中のためになる行為です。相手のことを考えみんなのためになるように職業活動する。それがビジネスの繁栄に繋がっていけば最高です。職業奉仕は、赤字覚悟でサービスする事でなく、金銭や物品を提供するという物質的な行為としての奉仕でもありません。ロータリーの文献を引用しますと、『職業奉仕とは、誠実と信頼に尽きる』とあります。職業奉仕とは、嘘やごまかしのない、まっとうな商売をして、世間の信頼を得る精神的倫理的行為であります。今流に言う、コンプライアンスに当るのではないのでしょうか。ロータリーの本質は綱領にあるように『倫理性』を大切にする団体です。日本では、ロータリーは基本的に職業倫理・職業奉仕の精神を持った人々の集まりであり、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確にしていると言われています。ロータリアンとしての倫理的行動の原点は『四つのテスト』だと思います。今年から、山中職業奉仕委員長の発案で毎月第一例会にこの四つのテストを唱和していただくことになりました。本日も早速、唱和ありがとうございました。

『社会奉仕』『国際奉仕』は、それぞれ地域社会や国際社会に関して人のためになる行為であることは周知の事実です。又、『新世代』は、次代を担う青少年の育成に向けた奉仕であることは御承知のとおりです。ロータリー活動は、世のため人のための奉仕活動であるけれども、それは、事業や専門的職業の繁栄につながり、結果としてその人に大きな利益をもたらします。これがロータリーの本質だとされています。本年度レイ・クリンギンスミス R I 会長テーマ『地域を育み、大陸をつなぐ』は、ロータリアンにはロータリーの原則の重要性を再認識してもらい、ロータリアン以外の人にロータリーの目的を説明するテーマだそうです。今年度は、50年という節目を迎えるに当たり、先人の創業の思いに立ち返り、改めてロータリーの原点、本質を認識する年度にしたいと思います。具体的には『四つのテスト』を常に実行することで、ロータリーの本質・精神を理解し、奉仕や親睦活動を通じて真のロータリアンとしてロータリーを楽しいと実感できる一年にしたいと思います。又、50周年事業につきましては、前年近藤年度に発足しました50周年実行委員会が企画が進行中であります。記念事業並びに記念例会を盛大に開催し、焼津ロータリークラブ半世紀の歴史、50年を皆さんで祝いたいと思います。

以上、文献の受け売りでカッコいい事を述べましたが、ロータリアンとしての自覚を持って、1年間運営してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○会長エレクト 松村友吉君



会長エレクトとして、今までの不勉強を反省し、ロータリーとは何なのか、もう一度基本から勉強しなおしたいと思います。倉嶋会長の言動に学び、またできる限りご支援していきます。

クラブ管理運営委員会については、クラブ奉仕にかかわる親睦活動委員会、プログラム委員会、スマイル委員会、ソングリーダー、そして SAA の皆さん

と連携し、情報交換を図り協力しあいながら、この50周年である倉嶋年度が滞りなく運営できるよう気を配っていきたいと思います。また、クラブの長期計画について考え提案することも当委員会の役割です。これは一年間かけて、じっくり研究したいと思います。

○会計 多々良 匡君



今年度は、クラブ創設 50 周年の記念年度であり、事業も大きなものとなります。幸い、会計と 50 周年特別委員会の会計の両方を受け持たせて頂きます。双方の推移とバランスを見ながら、事務局とも連絡を取りあってまいります。特別の年度という事もあり、会員の皆様には多大のご負担もかかりますが、よろしくお願いします。

○会場監督 杉本 昭君



会場監督は、望月誠人君、池ヶ谷聡君、中野弘道君、ニューパワーの鈴木薫君、それと杉本昭の5名です。老・若、ベテラン・新人の混成部隊です。特に正副が共にクラブのキャリアが浅いので、ベテランの皆さんのお力やお知恵をお借りしなければなりません。皆様の絶大なるご協力をお願い致します。

さて本年は、クラブ設立 50 周年という大変重要な年に当たります。そこで、倉嶋会長、岡村幹事のお二人は、特に例会を重視する旨を SAA に指示をされました。原則を守りながら、マンネリを避け、工夫を凝らされるようアイディアを戴いています。

・ まず例会場での心得からです。国旗・クラブ期を

従来の布製からパネルに変更します。これにより気持ちが改まり、シャキッと引き締まった心で例会に臨みます。

- 例会の始まりをチャ임でお知らせします。少し、ソフトな感じを醸し出そうというものです。例会スタートを毎回スムーズにやれるよう、会員の皆様のご協力をお願いします。
- 続いて、毎月の初回例会スタート時に、「四つのテスト」を唱和します。職業奉仕委員会の山中委員長が音頭で行います。皆でロータリーの原点を確認しましょう。
- 例会の運営をスムーズに行うために、例会運営に関係の深いメンバーを1番テーブルにします。親睦、ソングリーダー、会報、スマイルの各委員会の皆さんです。
- お客様を暖かくお迎えするために、従来同様、最前列2番テーブルがゲスト席です。
SAAも気配りを致しますが、周りの皆様には、アシストを宜しくお願い致します。
- 例会の楽しみは、なんと言っても会員相互の情報交換ですが、食事も大切な楽しみの一つです。会長幹事からも強く要請されていますので、定番だけでなく従来とは違ったメニューにもチャレンジしたいと考えています。
- 移動例会には、主管委員会に協力してスムーズに進行するよう努めます。
- 尚、「卓話タイム」は、従来どおり“禁煙”とさせていただきます。ご協力をお願い致します。

何はさておいても、ロータリークラブの基本は例会にあることを肝に銘じて、委員一同連携して運営にあたりたいと思います。皆様の暖かいご支援ご協力とご鞭撻を宜しくお願い致します。

○会員組織委員会 近藤吉典君



昨年、一年間ありがとうございました。今年は、直前会長として、会員組織委員長を勤めさせて頂き

ます。会員組織委員会は、会員増強、会員選考、職業分類、出席委員会と一緒に活動をして頂く委員会です。幸い、各委員会共ベテランの委員長さんが就任されていますので、安心しております。特に、本年度は数年ぶりに出席委員会が独立した形で設けられ、倉嶋会長の出席に対する意気込みが感じられます。

当委員会の重要な仕事は、新入会員に対するオリエンテーションです。新会員が多いほど委員会活動も活発になりますので、皆様よりの増強に関する情報をお持ちしております。なお、昨年「わかりやすいロータリー」という冊子を購入させて頂き、早速オリエンテーションで利用させて頂きました。内容が整理され、非常にわかり易く記述された冊子ですので、入会3年未満の会員の皆様にも配布できたらと考えております。

昨年の皆様の協力に対しまして、少しでもお返しできたらとの思いで一年間を過ごさせて頂きたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

○クラブ広報委員会 青島直久君



IT化は時期尚早では無いかとの意見が未だありますが、地区は近年度も引き続きIT化を推進していきたいとの方針であります。当クラブの会長であります倉嶋会長のお考えも同様であります。焼津ロータリークラブのホームページも新たに更新を致しましたので、会員の皆様どうか活用をしていってください。

○文献記録委員会 仲野和則君



文献記録委員長を本年度も務めさせて頂きま

す。私事で申し訳ありませんが、手術後抗ガン剤治療のため無理はできません。その為、委員長の伊佐公友君、伊藤良洋君両名にはご迷惑をかけると思いますが、宜しくお願いします。

今回で、7年連続となります。7年も務めますと当クラブの活動状況がほとんど把握でき、又出席率120%以上です。そういった意味あいでは、この会の委員長は、新しい会員にお願いしたほうが効果的ではないでしょうか。又、各委員会の活動状況が去年とほとんど同じで新鮮みが無いように感じます。ぜひ、今年度（倉嶋年度）おもいきった委員会活動を期待しています。メンバー皆様にご満足頂けるよう頑張りますので、宜しくお願いします。

◆ 雑誌委員会 秋 山 和 幸 君

・成功の法則・松下幸之助はなぜ成功したか

「人間というものは、すべて本質的に偉大なものをもっている。決して相手を見下してはならない。誰と話をするときも、身なり、肩書きで接してはいけない。いつも話をするときには、たとえ部下をしかるときでも、心の中で手を合わせてモノを言え」

ロータリーの友 7月号抜粋

